

学級活動指導案

〇〇小学校 5年 指導者 T1 担任
T2 養護教諭
T3 栄養教諭

1 題材名 よくかむことの大切さを考えよう

2 考察

(1)教材観

①学習内容:学習指導要領上の位置づけ

- ・(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」
エ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・健康な体をつくるための、よくかんで食べようとする意識や意欲の向上
- ・児童自らの食習慣の改善を図ることを通して、健康な身体をつくろうとする態度

③そのために必要な指導・学習活動

- ・これまでの食習慣を振り返り、よくかんで食べていたかを考える。
- ・「よくかむ」とはどのようなことなのかを実感する。
- ・なぜよくかむことが必要なのかを理解する。
- ・今後、どのような食習慣の形成をしていくかを考える。

④今後の学習の活用

- ・給食時によくかんで食べているかを振り返る活動
- ・望ましい食習慣の形成ができているかを学級通信に掲載し、家庭と連携する。

(2)児童の実態及び指導方針

①これまでの学級活動の例(略)

②学級活動における児童の実態(略)

③学級活動における指導方針

- ・自分の意見が出しやすいように、それぞれの考えを紙に書いたり、近くの人と相談したり言い合ったりする時間を設ける。
- ・話し合いの中に関わろうとする気持ちをもてるように、自分の考えや意見を1人1回は発言することができるように励ます。
- ・自分の意見に理由をつけてしっかり述べるように指導する。
- ・実際の学校生活における課題を取り上げ、クラスで話し合い、決まったことがすぐに生活に生かせるようにする。

④本題材に関わる実態(略)

3 指導計画(事前の活動→本時の活動→事後の活動)

評価	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的に 日常の生活や学習に取り組もうとしている。
規	集団の一員としての 思考・判断・実践	日常の生活の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解 決方法などについて考え、判断し、実践している。
準	集団活動や生活に ついての知識・理解	歯や体の健康づくりの大切さやよりよい生活の仕方などにつ いて理解している。

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動	問題の発見	・かむことの大切さについての理解	・自分の取組を振り返り、課題点を見つける力	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組を振り返り、アンケートに書く。 ・どのような食べ物が好きかを伝え合う活動の中で、噛むことについてどのくらい意識しているかを考える。
	題材の選定	・本時の計画的な進め方についての理解	・友達の意見を聞いて、それに関係した自分の考えを述べる力	
	問題の意識化	・題材と提案理由の理解	・自分のことを振り返ることができる力	
本時の活動	出し合う	・学級課題について解決に向けて考えていくことへの理解	・他の意見のよさに着目して自分の意見を述べる力	<ul style="list-style-type: none"> ・かむことについてのアンケート結果を振り返る。 ・固い食べ物を食べる必要性を考える。 ・咀嚼力について気付いたことをワークシートに記入する。 ・かむことの良さについて知る。
	比べ合う	・めあてに沿った意見を述べることについての理解	・歯や体の健康づくりに大切なことを生かし今後の食習慣を考える力	
	まとめる	・どのような食習慣を形成していくことが大切なのかの理解		
事後の活動	実践	・充実した学校生活を送るための取組についての理解	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで目標に対して努力する力 ・充実した学校生活を送るための取組についての実践を認め合う力 	・自分で決めた目標の取組状況の確認と振り返り

4 本時

(1)ねらい

よくかむことは、歯や体の健康づくりに大切なことを知り、よくかんだり歯ごたえのある食べ物を選んだり食べたりしようとすることができる。

(2)授業改善の視点

咀嚼力判定用ガムを用いて咀嚼力について考えたり、養護教諭と栄養教諭の話の聞いたりしたことは、歯や体の健康づくりに大切なことを知り、よくかんだり歯ごたえのある食べ物を選んだり食べたりする考えをもつうえで有効であったか。

(3)準備

ワークシート、食事メニューカード、鏡、サランラップ

(4)人権教育上の視点

【実践力】（実践意欲・態度）互いのよさや違いを認め、生活の中の問題点に気づき、生活を向上させようとする。

(5)展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導 形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童への支援 ◇評価
<p>1 かむことについてのアンケート結果を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よくかんでいる」と答えた児童が多いことをおさえる。 	5	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の普段のかむことの実態を振り返ることができるようにし、課題につなげる。 ・「カミング30」の話をし、よくかんでいない実態を明らかにする。 ・よくかむとなぜよいのかを投げかけめあてにつなげていく。
<p>【めあて】 よくかんで食べると、どんなよいことがあるのかを考えよう。</p>			
<p>2 咀嚼力判定用ガムをかんで、気づいたことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①かんでいるときの口の中の様子 ②かむと顔のどこが動いているのか ③30秒かんだ後のガムの色の变化 <ul style="list-style-type: none"> ・かむと唾液が出て、ガムが柔らかくなる。 ・あごの周りだけでなく、頭も動いている。 ・ガムが緑色からピンク色に変わった。 	8	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・いつものようなかみ方で2分間かむことを伝える。
<p>3 気付いたことを交流する。</p> <p>4 よくかむとどんなよいことがあるのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくかむと、唾液がたくさん出る。 ・あごやその周りが動いて疲れたから、あごが丈夫になるのではないか。 	15	個人 グループ	<p>次の3つのポイントを示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ①唾液を飲み込むときにガムの味がすることから、唾液が出ていることを確かめるよう助言する。 ②頭を触りながらかむことで、顔のどこが動くのか自分で調べるよう助言する。 ③かむ力に違いが出てくるのはなぜかを問いかけ、日常の食事の仕方にも目を向けることができるようにする。
<p>5 養護教諭と栄養教諭の話を聞き、健康な体をつくるためによくかんで食べることの大切さを知る。</p>	10	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動3、4をもとに、児童が気付いた点は称賛し、気付かなかった点についてそれぞれの専門的な立場から説明をする。 ・よくかむことの大切さについて、養護教諭からは「歯の病気予防」「胃腸快調」について、栄養教諭からは「味覚の発達」について説明する。
<p>6 本時の学習からわかったこと、自分の食生活を振り返り、これからの食事でどんなことに気を付ければよいかを考える。</p>	7	個人 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ◎考えがまとまらない児童には、これまでの食生活を振り返らせたり、これからどのようにになりたいかを考えさせたりできるよう個別に指導する。 ◇かむことの大切さがわかり、よくかんで食べることについて自分の目標を考えている。 <p>(観察・発言) 【思考・判断・実践】</p>

5 板書計画

全身の健康
口は健康の入り口

アンケート結果

よくかんでいる ○名
よくかんでいない △名

- ・家の献立で好きなもの
(カレーライス、唐揚げ、みそ汁、ハンバーグ、シチュー、焼肉、ラーメン、オムライスなどの食事メニューカードを貼る。)

めあて

よくかんで食べると、どんなよいことがあるのかを考えよう。

咀嚼力判定用ガムをかんで、気付いたこと

- ・かむと唾液が出て、ガムが柔らかくなる。
- ・あごの周りだけでなく、頭も動いている。
- ・ガムが緑色からピンク色に変わった。

よくかむとどんなよいことがあるのか

- ・よくかむと、唾液がたくさん出る。
- ・あごやその周りが動いて疲れたから、あごが丈夫になるのではないか。

